

都市再生整備計画 事後評価シート

小諸宿周辺地区

令和5年3月

長野県小諸市

都道府県名	長野県	市町村名	小諸市	地区名	小諸市周辺地区			面積	30.0ha					
交付期間	H30年度からR4年度まで	事後評価実施時期	R4年度	交付対象事業費	1,356.00	国費率	0.5							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路(市道1013号線)、地域生活基盤施設(駐車場)、高次都市施設(多世代交流スペース)、中心拠点誘導施設(老人福祉センター)										
			提案事業	-										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			基幹事業	-			-			-				
			提案事業	-			-			-				
	新たに追加した事業		基幹事業	公園(大手門公園)、地域性格基盤施設(広場)、高質空間形成施設(歩行者支援施設)			回遊・滞留空間整備のための事業追加			なし				
			提案事業	地域創造支援事業(交通結節点整備、病児病後児保育施設)、まちづくり活動推進事業(公的空間を活用した外出機会創出事業)			施設集約、効果検証のための事業追加			なし				
交付期間の変更		当初	平成30年度～平成32年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
		変更	平成30年度～令和4年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	コミュニティバスの年間利用者数	人	15,160	H28	30,000	R4		16,084	△	あり なし	● ●	目標は未達成ではあるものの、施設整備完了に合わせた運行見直し(運行時間の拡大)によって、1日あたりの平均乗客数が増加するなど利便性能向上に寄与している。	R6年3月
	指標2	中心市街地における空き店舗数	件	21	H28	16	R4		14	○	あり なし	● ●	施設整備の完了や社会実験の取組により、小諸駅・市庁舎周辺地域一帯での一定数の滞在人口が見込まれることから、空き店舗を活用した新規出店が増加した。	
	指標3	中心拠点におけるH33人口密度	人/ha	25	現状のままの推移	27	事業後		28	○	あり なし	● ●	施設整備による生活利便施設の維持、公共交通の接続・運行拡大によって、小諸駅・市庁舎一帯での居住人口の維持・増加に寄与している。	
	指標4	相生町商店街の歩行者数	人/日	816	H28	1,500	R4		977	△	あり なし	● ●	目標は未達成であるものの、施設整備の完了や社会実験の取組により、小諸駅・市庁舎周辺地域一帯での来訪者の増加等により、当該商店街への徐行者数の増加に影響を与えている。	R5年11月
	指標5										あり なし	● ●		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	小諸駅を起点とした社会実験の実施により、まちづくりに関わる新たなプレイヤーの出現や小諸駅前での来訪者の増加へと影響を与えている。													
5)実施過程の評価				実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
	モニタリング			-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組			小諸駅・市庁舎周辺数地における公共空間を活用したまちなか回遊社会実験や、EVカーを活用したまちなかの情報認知の拡大を図るMaaSによる交通社会実験などを実施			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			○ ウォーカブルな空間の設えやデザインの検討、公共交通ネットワークの形成による交通結節点と施設との接続を図り、回遊性の向上を図る。				
	持続的なまちづくり体制の構築			-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

小諸周辺地区（長野県小諸市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
		コミュニティバスの年間利用者数	単位：人	15,160	H28	30,000	R4	16,084	R4
		中心市街地における空き店舗数	単位：件	21	H28	16	R4	14	R4
		中心拠点におけるH33人口密度	単位：人/ha	25	現状のままの推移	27	事業後	28	R4
		相生町商店街の歩行者数	単位：人/日	816	H30	1,500	R4	977	R4
			単位：						

大目標：住みたい 行きたい 帰ってきたい まち 小諸
目標①：公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生
目標②：立地適正化計画の具現化に向けた、持続可能な集約型都市の形成

The map displays various planning zones around Komatsu Station:

- 都市機能誘導区域 (Urban Function Guidance Area)**: Indicated by green lines.
- 居住誘導区域 (Residential Guidance Area)**: Indicated by yellow lines.
- 都市再生整備区域 (Urban Regeneration and Improvement Area)**: Indicated by red lines.
- 実施事業箇所 (Implementation Project Sites)**: Indicated by black outlines and pink shaded areas.

 Key locations include Ohtani Park (大手門公園), Komatsu Station (小諸駅), and various commercial and public spaces. A scale bar shows distances up to 500m.

大手門公園(基幹事業：公園)

公的空間を利用した外出機会創出事業(提案：まちづくり活動推進事)

市道1013号線(基幹事業：道路)

凡例

- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 都市再生整備区域
- 実施事業箇所

駐車場(基幹：地域生活基盤施設)
広場(基幹：地域生活基盤施設)
歩行者支援施設(基幹：高質空間形成施設)
多世代交流スペース(基幹：地域交流センター)
老人福祉センター(基幹：誘導施設)
交通結節点整備(提案：地域創造支援事業)
病児病後児保育施設(提案：地域創造支援事業)
(参考)関連事業
テナント整備

施設全体
多世代交流スペース
駐車場
老人福祉セン
テナント整備
交通結節点整備

まちの課題の変化

- 施設整備によって、前都市再生整備計画も含めた都市機能・生活利便施設が小諸駅・市庁舎周辺地域一帯に集約され、公共交通の利便性の向と合わせて、居住環境の質の向上につながるのと同時に歩いて暮らせる日常生活圏の形成につながっている。
- 商業機能を有する施設整備によって、小諸駅・市庁舎周辺地域一帯での滞在する人口が一定数見込まれることから、施設周辺での新規出店が増加し、賑わいの創出へとつながっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 小諸駅前での公共施設・公共空間等を活用した社会実験によって市内外の来訪者に影響を与えるものの、小諸駅・市庁舎周辺地域内への回遊の広がりにまでは達していないことから、ウォーカブルな空間の整備によって回遊性の向上を図る。
- 令和9年度には、小諸駅に近接する国重要文化財である「旧小諸本陣 問屋場」の改修工事が完了し、公開されることから、小諸駅を起点にしたエリアでのデザインや回遊性の向上に資する施設・空間整備を図る。
- 民間事業者による空き家の活用・新規出店が増加していることから、小諸駅を起点とした公共交通ネットワークの形成による移動手段を提供することで小諸駅と施設とを接続するとともに、公共交通との接続を活かし、周辺公共空間も活用した民間活力による施設誘導を図る。